

# フランス語動詞 *rester* の構文体系における人称構文と非人称 (*il*-述辞)・無人称 ( $\emptyset$ -述辞) 構文

敦賀 陽一郎

(東京外国語大学外国語学部教授)

## 1. はじめに

フランス語の文構成の基本には文構成の型の体系がある。機能統辞論のモデルに従うと、全ての文構成型の中心には述辞 (*prédicat*) 機能があり、これがその周りに構成される拡張 (*expansion*) を組織している。文の独立の根幹である独立機能 (*fonction indépendante*) を担う述辞は別格であるが、拡張の述辞に対する関係が統辞機能 (*fonction syntaxique*) であるといえる。拡張の機能には様々なものがあるが、フランス語 (かつ、その他の印欧語、等の言語の) 文構成体系の特徴として、主辞 (*sujet*) 機能は特記すべきものである。何故ならば、「主辞-述辞」という二本柱が文構成の基本になっていて、主辞はあらゆる文型に不可欠であるといっても良いほどだからである。この点は「暖かくなりましたねえ」というような文構成を始めとして、不可欠な主辞機能をもたない日本語のような言語の文構成とは根本的に異なっているといえる。

フランス語では、主辞機能を担う記号素 (*monème*) のクラスの典型は名詞であり、述辞機能のそれは動詞である。よって、「名詞-動詞」(主辞名詞の標準の位置は述辞動詞の左) が文構成の基本となる。名詞は修飾要素を従えて名詞句、名詞節になりこれらも同様に主辞機能を担う。これらに共通の形と意味は文構成において他要素を積極的に修飾する能力を備えていないという点である。このことは典型的に名詞を修飾する意味を持つ形容詞、動詞を修飾する意味を含む副詞、等と比較すると理解しやすい。よって名詞要素は文中での位置関係が他要素との関係を確立するにあたっては重要になる。それで、例えば、*Paul aime Marie* のようにフランス語では最も頻度の高い他動詞構文は動詞述辞とその前後に配列された二つの名詞要素から構成されることになる。他動詞構文が重要であるのは、意味的には、「誰かが何かをする」というような事行 (*procès*) がフランス語では (あるいは人間言語では) 多いからということがあるかもしれない。しかし、このことと名詞要素が他動詞の前後に配列されるということは直接の関係はない。形の上からは、何の関係指示もない名詞要素が動詞の前後に配列され、その結果、動詞の左と右が統辞関係指示において関与的 (*pertinent*) になっている点は重要である (*Paul aime Marie* ≠ *Marie aime Paul*)。Marie は動詞句の一部を占め Paul はそうではないので動詞の前後の位置の重要性を同一レ

ベルでは論じられないということは（フランス語構文論においてそれを認めるとしても）上の関与性を弱めるものではない。何故なら、Marie が動詞句の一部を占めるということ（あるいは関連のその他のどのようなことであれ）が判断できるのは、正に関与的位置によっているからである。フランス語において最も頻度が高く、おそらく意味構成においても最も重要な人称他動詞構文が動詞の左に主辞機能を右に目的辞機能を取るという事実は全構文体系において他の構文型にも影響を与えずにはおかないであろうということは十分に予測できることである。

他動詞構文は人称構文の典型と言えるが、これ以外に間接他動詞（Paul pense à Marie）、代名動詞（Paul et Marie s'aiment）、受動態（Marie est aimée de tout le monde）、属詞動詞（Paul est étudiant）の構文が人称変化をする主辞機能を取る。機能統辞論の観点からは、属詞構文においては「être-属詞」が述部と見なされ、端的には属詞そのものが述辞であり、être は一主辞が述辞動詞の現働化子（actualisateur）であるように（フランス語のような言語では、動詞は主辞により現働化されて「主-述構文」が成立する）一、属詞を現働化することになる。しかし、Paul est Jean, Paul l'est や Même si cela ne vous plaît pas, cela est のような文の存在を考慮すると être の特殊な重要性は無視できない。

上記の構文に加えて、フランス語には Il faut partir や Il arrive un accident のように非人称または単一人称とも呼ぶべき構文が存在する。これらの構文は形式的には人称構文に倣って「主辞-述辞」の形を取るが、主辞の範列は il のみで完全に閉じている。これは、他動詞構文との関係で言えば、動詞がその前後において拡張の十全な範列を組織していないということであり、その分動詞の左右の位置は構文構成上十分には機能していないということでもある。しかし、Il arrive un accident - Il en arrive un のような例に見られるように、動詞の右側の要素に他動詞構文の目的機能構成の影響があるという点も無視できない。人称-非人称の関係は当然無視できないところである。

以上の構文は非常に生産的なもので、規範的なものともいえる。しかし、これらの構文以外に「主-述構文」とは対立することになるが、動詞要素を述部に残している（ように見える）無人称構文（Voici Paul, (Il) reste des problèmes）、さらに、活用した動詞要素を述部に全く含まない非動詞文（De là, la Révolution française や Et Paul de partir）がある。以下、本稿で主な対象となるのは非人称、無人称構文で、人称構文との比較を動詞 rester の実例分析を通して見ていく。

動詞 rester には様々な構文がある。本稿の基本的な構想は、「rester の種々の構文の基本には Paul reste à Paris のように具体的空間認識を反映した構文がある」ということになる。この構想の要点は次のとおりである。(1)「具体空間から抽象空間へ」というのが意味理解としては自然な流れである。(2) rester の実例の中には、rester の意味が具体空間に関係しない場合でも、空間認識に関連するものが多い。(3) rester の意味は場合によっては極めて異なったものとなるが、全ての rester を一つにまとめて範列を比較することにより異なった構文間の分析、理解も深まる。

文構成において述辞の周りには先ず特有機能（fonction spécifique）の拡張が配置される（例えば、Paul pense à Marie）。特有機能とはある下位クラスの述辞とのみ結合可能な統辞

機能で、これらの機能は逆に述辞を構文の観点から特徴付けることになる。特有機能の外側に非特有機能 (*fonction non-spécifique*) の拡張が配置される (例えば, *Paul rencontre Marie à Paris*)。非特有機能のものは基本的に全ての下位クラスの述辞と結合可能である。特有機能の拡張は述辞と密接に結びついているので位置的な制限も強くなるのに対して、非特有機能のものは比較的に位置の制限は緩いといえる。

*Rester* の構文は、具体的空間表示の位格の特有機能をもつ構文型 *N0-rester-Loc-N1* (*N0*: 第一参加項の名詞句である主辞, *Loc*: 位格の前置詞, *N1*: 第二参加項の名詞句) が雛形であるということになる。

実際の資料体<sup>1)</sup>の調査では特有位格を持つ構文の頻度は2番目で、属詞構文 *N0-rester-Att* (*Att*: 属詞) の頻度が一番高かった。ただ、属詞構文でも更に特有位格をとるものは多く、抽象位格とも属詞ともいえるものも多く、構文全体での位格の存在は相当目立っている。主辞機能のみのもの (*Moi, je reste*) もある (主辞機能もかなり大きな下位クラスの動詞を特徴付ける特有機能である)。これらに対して非人称構文、無人称構文が見られるが、頻度数は人称構文のそれよりも明らかに低い。

述辞動詞の右に名詞句が来るのは典型的な他動詞の構文であるが、属詞動詞 (*Luc est professeur, Luc n'est pas Jean*) の構文もそうであり、*rester* は属詞構文をも組織する動詞の一つである。機能統辞論の解釈では、*N0-rester-N1* では、*N1* が述辞、*rester-N1* は述部、*rester* は現働化子ということになる。しかし、本稿では、*rester* が述辞で *N1* は属詞機能の位置依存辞の名詞とする。「属詞機能＝述辞機能」とはせずに、属詞はある下位クラスの述辞に組織される特有機能とする。このように見たほうが自動詞、等との関連を説明したり、「一つまたは二つの動詞」を説明する際にもより体系的に論を展開出来るからである。

*Rester* の場合、右側に来る名詞は必然的に属詞機能を担うことになり、直接目的機能はありえない。形容詞も同様である。属詞動詞の右側で典型的に属詞機能を担うのは名詞、形容詞であるが、*rester* の場合、属詞機能を担うのは名詞、形容詞に限らないという点には注意しなければならない。前置詞句も属詞機能を十分担いうるというのが *rester* の特性の一つである。過去分詞は形容詞に近く、副詞や前置詞句は位格に近いと期待するが、前置詞句の中には具体的位格から抽象的位格、さらには位格性の極めて弱いものも存在する。これらが全てかなり密接に関係した大きな範列を構成しているように解釈しうるのが *rester* の構文である。更に、完全な自動詞の *rester* の存在も無視できない。

以下では、2. で有標と無標について、3. で、順に、人称構文で特有機能として、前置詞句をとるもの、自律的要素 (副詞、形容詞、過去分詞) を取るもの、何も取らないもの、そして、位置依存的要素 (名詞・名詞句・名詞節) を取るものを概観し、非人称構文 (*il-rester*)、無人称構文 (*Ø-rester*) を見る。次に、4. で *N0-rester-à-Vinf* (*Vinf*: 不定詞) 構文の可能性を詳細に検討し、最後に 5. で人称、非人称、無人称の対応関係を見る。

## 2. 有標と無標

統辞論における有標性の概念は音韻論におけるそれよりも複雑な問題を引き起こしう

る。一般的に、(i) 無標 (non marqué) のものが標準的であり、有標 (marqué) のものはより派生的なものである。その結果 (ii) 形態的には有標のものの方が無標のものよりも標識 (marque) の分だけ長くなる。(iii) 頻度は無標の方が有標よりも高くなる。これは、(iv) 有標の出現する文脈が制限されていて、無標は基本的に制限されていないからである。

例えば、フランス語の動詞の法 (mode) については、直説法 (indicatif) は無標で接続法 (subjonctif) は有標であると言える。接続法は主節にある種の動詞、等の表現が来た時にのみ従属節の動詞の形として現れうる (Je *veux* que vous *sachiez* la vérité) というのが基本であって、明らかに出現文脈は限られている (cf. (iv))。また、直説法は動詞の裸の形 (つまり、動詞そのもの) が現れていて、それに接続法という様態辞 (modalité) が加わって接続法の形態が出来上がる (savez + “subjonctif”=sachiez, cf. (ii)), と分析しうる。つまり、いわゆる「直説法」は「法」ではなく動詞の裸の形態 (=無標) であり、「接続法」の形態が有標の標識ということになる。上の (i), (iii) についても条件を満たしている。

それでは本稿で対象となる人称、非人称・無人称の構文についてはどうであろうか。例えば、Ce livre reste à lire, Il reste à lire ce livre, Reste à lire ce livre で考えてみよう。一般的には、以下でも見るように、人称構文の頻度数は非人称のそれよりも圧倒的に高い (cf. (iii))。人称の方が標準的である (cf. (i)) というのも問題はない。出現文脈については、不定名詞句が人称主辞になりにくいというようなことはあるが、基本的に非人称の方が制限されていることも確かである。問題は (ii) で、長さというよりも標識の認定である。上の直説法-接続法の場合にならうと、人称 (personne) に関係する要素を標識とすることになり、標準の人称構文を動詞構文上の裸の形 (=無標, 人称なし!) とする。すると、これに標識「非人称」を付け加えて有標の非人称構文ができることになる。これは、人称構文における三つの人称の選択の可能性と非人称における選択の不可能性を考えても基盤の薄弱な分析になる恐れがある。更に、無人称構文のことを考えるとより困難である。つまり、非人称では形としては il が残っているが、無人称では文字通りゼロになってしまう。「ゼロ」を有標とするのは概念・用語矛盾の恐れさえある。標識を人称の代わりに主辞機能としても、同じことである。人称構文の主辞とは範列が開いていることを意味していて、これは三つの人称が可能であることと同じである。非人称の il は形式的で第3人称の様々な要素に置き換え可能な訳ではない。

日本語のように主辞が統辞構造上存在しない言語 (主辞は統辞機能上の概念で「述辞を現働化する必須機能」と定義する) では、フランス語の主辞に相当するものがない文を無標とみなしうる。しかし、「主辞-述辞」の型が定着しているフランス語のような言語では、主辞のある方が標準となる。これはかなり強く定着していて、上例について言えば、Ce livre reste à lire は Il reste à lire ce livre よりも標準的であり、Il reste à lire ce livre は Reste à lire ce livre よりも標準的である。そして、これには頻度数が呼応している。例えば、日本語の会話では意味的にフランス語の主辞に相当するような要素は文脈で分かる (これが大半) 場合は通常出てこない。英語やフランス語 (などのインド・ヨーロッパの言語) におけるように、「主辞-述辞」の2項の構文が強く定着していて、主辞を文脈、状況に応じて省略することが出来ない言語構造 (イタリア語、スペイン語のように、名詞句は省略できて

動詞にその印が残るといのは本質的に同じである)は極めて興味深い現象といわざるをえない。この構造の話し言葉における実態と子供による習得の過程はさらに興味深い。

義務的に必ず存在しなければならないものが何らかの「突出性」,「指示性」の印となるというの納得がいかない。上例では、人称主辞の欠如が正に目立った印となっている。「有標-無標」の概念は標識の認定と関連して、人称-非人称・無人称構文については深刻な問題が出てくると言わざるをえない。

最後に一つ注意しなければならないことがある。それは、上の分析の前提として、非人称・無人称構文を人称構文の単なる変異体 (variante) とはみなしていないという点である。前者が後者の文脈上の単なる変異体ということになれば、有標性と標識の認定の議論も変化せざるをえない。しかし、この問題は別の機会に譲らざるをえない。

### 3. Rester の構文

本稿の基本となる資料体は *Le Monde* 紙 (2002 年 1 月 1 日-1 月 12 日) と *Frantext* (1960 年-1997 年) の二種であるが、以下の *rester* の構文の概観では前者の 537 の実例の中で見られた構文のみを対象とする。

#### 3-1. Sujet-*rester*-f-r- (f : fonctionnel 機能指示子, r : régi 被制辞)

機能指示子とは統辞機能を指示するのに専門化された要素で前置詞や従属接続詞のようなものである。被制辞は機能指示子によって制御される名詞・名詞句相当語句である。f-r はここでは基本的に特有機能の前置詞句のことであり、上記の構文は特有機能として、主辞と f-r を最低一個とる構文を意味する。

*Rester* との関係が深い前置詞句ははっきりと具体的なものから抽象的なものまで位格のニュアンスを含むものが多い。場所指示の名詞が人間、等になると与格になる。

##### 3-1-1. Sujet-*rester*-f-r

###### N0-*rester*-à-N1

- (1) Il a vingt ans quand il décide de partir étudier à Paris. Il a renoncé au cinéma et pense être un raté. Il y reste cinq années, oubliant vite ses cours à Paris-IV pour se promener dans les rues, lire, commencer à écrire. (p.2, 11.1.02)
- (2) Les consommateurs vont donc pouvoir en profiter pour écouler les pièces et billets en francs qui leur restent. (p.18, 10.1.02)

上の (1) では位格の à Paris が y により置き換わっているが、具象、抽象の種々の位格名詞句が常に y により置換可能というわけではない。

(2) では与格代名詞 leur になっているが、これは aux consommateurs に置き換わったものである。特有位格と与格の共通点は共に方向性をもつ点である。「方向性」は典型的な移動動詞 aller の Luc va à Paris のように「到達点」が含意される場合には更にはっきりしてい

る。Rester の場合は「移動ゼロ」とでも言えようか。Luc est à Paris も移動ゼロであるが、rester の場合は移動の欠如がより積極的に含意されている。いずれにしる、通常の場合の状況項（例えば、À Paris Luc rencontre Marie）とは区別されるべきである。

上例では rester の右の特有機能は一つであるが、Luc reste à Paris à l'Opéra 「リュックはパリに（の）オペラ座にのこる」のように二つ以上の位格が入れ子型になっているものもありうる。非特有の状況項位格では入れ子型はよく見うけられるのに対して、特有位格の場合には頻度は落ちるかもしれない。構文組織の根幹にある述辞の意味特性と密接に関連して特有機能が組織されることを考えれば当然である。つまり、入れ子型はある意味で言語外要因（この場合、物理空間の包含関係）により決まるところがあるので、述辞による制御がしにくい。それにもかかわらず、述辞制御の強い特有位格に入れ子型が不可能ではない点は注目に値する。

### **N0-en rester-à-N1**

- (3) La dernière préoccupation des commerçants - et non la moindre - sera de déterminer sur quelle monnaie baser le " prix psychologique ", afin qu'il soit le plus " attractif " possible. "En restera-t-on aux 299 francs, avec l'équivalent en euros, 45,58), ou bien optera-t-on pour 49,9 euros (327,32 F) ? ", se demandait, en décembre, Michel Roulleau, directeur des Galeries Lafayette. (p.16, 4.1.02)

上例は en rester で凝結している例である。本来は別な動詞の見出しで分類すべきであるが、rester と意味、構文的に近いのでここに分類する。

### **N0-rester-à-Vinf**

- (4) Les bonnes pratiques d'utilisation de l'échographie restent à définir (p.23, 10.1.02)

上例の不定詞は他動詞で前置詞句全体で属詞的ニュアンスを帯びるが、抽象位格のニュアンスもある。また、rester-à-Vinf において、不定詞は自動詞も可能である。

### **N0-rester-de-N1**

- (5) Plus de rouge-gorge, plus de troglodyte mignon à l'horizon, quelques touffes de plumes, deux ailes, une queue : voilà ce qui reste des oiseaux quand un chat passe sa vie au jardin.
- (6) Le mot d'ordre de " vigilance ", qui avait été mis en avant à Paris au moment de l'arrivée au pouvoir de la nouvelle coalition de droite en Italie en juin 2001, reste d'actualité. (p.4, 9.1.02)

(5) のように冠詞が残っていると「一部」を示す de ということである種の場所指示との関係が認められる。(6) のように被制辞名詞の冠詞がおちて、全体として性質を表す形容詞に近くなると、位格のニュアンスは弱まる。

### **N0-rester-de-Vinf**

- (7) Pour son père, aujourd'hui investi dans le combat pour les handicapés, l'objectif essentiel reste " d'assurer l'avenir de Michel ".(p.8, 9.1.02)

上例の **de** は更に場所指示のニュアンスは弱い。つまり, **rester** の右で属詞機能の不定詞に付く前置詞であるといえる。(同じ属詞動詞でも **être** の場合は前置詞 **de** なしで済みますこともある。例えば,  **Vouloir, c'est pouvoir.**) **Rester** の右の **Ø-Vinf** や **à-Vinf** のニュアンスを参照。

### **N0-rester-avec/...-N1**

- (8) L'un d'entre eux, refusant que sa fille se sacrifie en restant avec lui, essaie de la marier.  
(p.38, 12.1.02)
- (9) Cette affaire est néanmoins restée sans suite publique. (p.5, 7.1.02)

etc.

(8) の **avec lui** は位格の意味合いは弱い, **Où restez-vous? - Je reste avec lui** などを考慮すると場所指示との関連は認めうる。(9) も同様であるが, 更に抽象的である。

### **3-1-2. Sujet-rester-f-r-f-r**

以下の例は特有前置詞句が二つ組織されていて, 二つの位格の両立の解釈がしやすいものもある。

### **N0-rester-à-Vinf-à-N2**

- (10) Plusieurs mises au point techniques essentielles restent à régler au Mont-Blanc, comme la vérification des quelque 1 200 capteurs électroniques qui recueillent les données sur les fumées et la fluidité de la circulation, ainsi que l'alimentation en électricité de l'ouvrage ou les systèmes de renouvellement de l'air. (p.11, 12.1.02)

上例では, **à régler** を抽象位格, **au Mont-Blanc** を具体位格とする解釈が可能である。Au Mont-Blanc は特有機能とする。これが非特有の状況項ならば, 上例は **N0-rester-à-Vinf** に属することになる。

### **N0-rester-à-N1-de-N2**

- (11) Les décisions prises à Doha, avec l'aval de notre Janus exécutif, constituent un marché de dupes dont seront victimes aussi bien nos agriculteurs, qui ont besoin de prix rémunérateurs et pas seulement d'aides directes, que ce qui nous reste d'industrie textile. (p.14, 8.1.02)

### **N0-rester-à-N1-entre-N2**

- (12) Regrettons que sur les millions dépensés en fusées et autres divertissements forains aucun

crédit n'ait été dégagé pour faire paraître les études sur le Paris préhistorique et le Paris gallo-romain qui, faute d'éditeur, restent à l'état de manuscrits entre les mains de savants hautement qualifiés. (p.11, 7.1.02)

(12) は entre les mains... も「方向性」をはっきりと帯びていて、特有位格が二つ両立している好例であるといえる。

#### **N0-rester-de-N1-sur-N2**

(13) Les dernières séquences du film montrent ce qui reste du groupe initial, quatre hommes, sur le bord d'une voie ferrée. (p.16, 2.1.02)

#### **N0-rester-sans-N1-à-N2**

(14) Certes, ces résultats ne signifient pas que deux chômeurs sur cinq restent sans solution à la sortie de l'Agence nationale pour l'emploi (ANPE). (p.8, 7.1.02)

(14) の sans solution は位格性は極めて弱い。

#### **N0-rester-ø-Vinf-en-N2**

(15) Je souffre du déficit démocratique des sociétés arabes et musulmanes, et simultanément de l'incompréhension dont ces sociétés font l'objet en Occident, principalement aux Etats-Unis. Si j'étais antiaméricain, je ne serai pas resté vivre en Amérique. (p.12, 8.1.02)

(15) の Vinf は à-vivre や pour-vivre に近いので上のように分類した。Où montez-vous? – Chercher mes clefs のような不定詞と比較すると、このような不定詞と位格との関連も認めうる。

### **3-2. Sujet-rester-Autonomie-**

以下には主辞と少なくとも一つの特有自律記号素（副詞，形容詞）を取るものを挙げる。形容詞の代わりに Vé（過去分詞）を取るものもここに分類する。

#### **3-2-1. Sujet-rester-Autonomie**

##### **N0-rester-Ad (Ad : Adverbe)**

(16) "Celui qui accorde sa protection aux assassins d'un ministre en Israël restera où il se trouve jusqu'à ce que ces assassins soient arrêtés et punis ", a déclaré M. Sharon devant des militants du Likoud. (p.5, 4.1.02)

(17) Acteur de premier plan, l'ancien président Chadli Bendjedid confirme, dans un entretien publié par Le Matin, que cette option était possible : " il fallait continuer le processus électoral, dit-il, assumer notre erreur, se mobiliser pour que la République reste debout (...). Le temps aurait dévoilé le FIS. " (p.4, 12.1.02)

同じ副詞でも (16) は位格, (17) は属詞である。

#### **N0-en rester-Adv**

(18) A l'issue d'un concours, le projet du cabinet d'architectes Jacques Ripault-Denise Duhart est sélectionné, en 1991. Mais il en reste là, faute d'un engagement de l'Etat. Au cours de l'été 1998, Michel Germa rencontre Catherine Trautmann, qui s'engage à soutenir cette réalisation. (p.26, 8.1.02)

#### **N0-rester-Adj (Adj : Adjectif)**

(19) A l'heure où il quittera l'Elysée, il aura rendez-vous avec les juges. Seule la date de la rencontre reste inconnue. (p.4, 1.1.02)

#### **N0-rester-Vé**

(20) IRAK. Les vols hebdomadaires Amman-Bagdad de la compagnie Jordanian Airlines ont repris. Les liaisons trihebdomadaires de la compagnie charter Gulf Falcon entre Bagdad, Damas et Beyrouth, restent maintenues.

### **3-2-2. Sujet-rester-Autonome-Expansion**

#### **N0-rester-Adv-sous-N2**

(21) Et More, le légiste, répond avec colère : " Et comment crois-tu pouvoir rester debout sous le vent qui soufflerait ? " (p.13, 9.1.02)

上例では, 第一位格が副詞 *debout* になり, 第二位格 *sous le vent...* と両立しているものと解釈しうる。つまり, *sous le vent* の方にも「方向性」が認められ特有位格となっている。

#### **N0-rester-Adj-Adv**

(22) Quatre jours après la démission du ministre des affaires étrangères, Renato Ruggiero, l'émotion restait forte un peu partout. (p.4, 10.1.02)

#### **N0-rester-Adj-à-N2**

(23) L'action de l'opérateur de télécommunications Telefonica est restée stable, à 15,03 euros. (p.13, 4.1.02)

(24) Selon les sondages, le soutien populaire à la peine capitale est moins entier : 65 % des Américains interrogés y restent favorables (15 points de baisse depuis 1994), mais 72 % souhaiteraient sa suspension jusqu'à une révision du système. (p.4, 4.1.02)

上例で *à-N2* は形容詞に特有なものである。しかし, *rester-Adj* 全体で一まとまりとなるので *à-N2* は *rester* に対して「方向性」を持ち, *rester* に対して特有であるように機能する。

(23) は「,」の存在により興味深い例となっている。*à-N2* は形容詞に対して特有ではなくて, それが「,」により際立っている。同時に *est restée stable* の一体性が強まり, *à 15,03 euros* の「方向性」も強調されている。(24) の *y* による代名詞化は *à-N2* が *rester* に対し

でも「方向性」を持っていることを示している。

### **N0-rester-Adj-à-Vinf**

- (25) Mais tous restent prêts à mettre la main au portefeuille quand apparaît un chef-d'oeuvre. (p.18, 1.1.02)
- (26) L'euro reste assez difficile à vendre au grand public en une période où l'économie britannique se porte mieux que celles du continent. (p.5, 1.1.02)

上の(26)では、l'euro は vendre の意味上の目的項になっている。この構文は L'euro reste à vendre と関係してくる。(以下の 3, 4 を参照。)

### **N0-rester-Adj-de/...-N2**

- (27) Les autorités ouzbèkes gardent toujours aussi frileusement leur frontière sur le pont de Termez, alors que celles du Tadjikistan, apparemment plus ouvertes, restent dépendantes du bon vouloir des Russes. (p.4, 4.1.02)

etc.

### **N0-rester-Vé-à-N2**

- (28) Et, sans aucune référence monétaire directe, le mot franc, adjectif ou nom, restera associé, dans le vocabulaire français, à l'idée de liberté. (p.7, 1.1.02)

### **N0-rester-Vé-à-Vinf**

- (29) Tout se passe comme si les spectateurs refusaient de se lier à l'artiste par un contrat implicite de respect et de suspension d'incrédulité, comme s'ils avaient décidé de ne pas rester assis à le regarder sortir un lapin de son chapeau mais de tenter plutôt de s'enfuir avec lapin et chapeau, persuadés que s'ils ne le font pas, le magicien sera le premier à les barboter l'un et l'autre. (p.13, 9.1.02)

### **N0-rester-Vé-de/...-N2**

- (30) Mais les Bleus étaient restés éloignés des sommets : 6es du Mondial 1999, 4es à l'Euro 2000 et 6es aux JO de Sydney. (p.16, 1.1.)

etc.

### **N0-rester-Vé-que (de ce que)-V**

- (31) Mieux, Sharon reste convaincu qu'il s'en est fallu de très peu pour que son plan aboutisse, auquel cas tout Israël l'aurait, comme en 1973, accueilli en héros. (p.11, 8.1.02)

*Convaincu que-V* は *convaincu de ce que-V* の *de ce* が省略されたものと解釈できて、この *que-V* は名詞節ではない。*Que-V* は en で置換可能 (le での置換は不可能) で *que* は前置詞 *de* を含んでいるといえる。

### 3-2-3. Sujet-rester-Vé-f-r-f-r

#### N0-rester-Vé-dans-N2-loin de-N3

(32) Quant aux bouddhistes, ils restent retranchés dans leurs montagnes du Ladakh, loin des tumultes de Srinagar et de ses prédicateurs. (p.13, 10.1.02)

#### N0-rester-Vé-par-N2-comme-N3

(33) De même, s'il reste considéré par les sondés comme le président de tous les Français et non pas seulement de ceux qui ont voté pour lui (53 % contre 41 %), ces chiffres sont les plus mauvais depuis la dissolution de 1997. (p.7, 10.1.02)

### 3-3. Sujet-rester

ここには主辞のみをとる自動詞構文を挙げる。

#### 3-3-1. N0-rester

(34) Les gens qui étaient intéressés par la Bourse savaient qu'ils la trouveraient sur Info, comme ceux qui suivaient les courses, et ils restaient. (p.12, 12.1.02)

#### 3-4. Sujet-rester-Positionnel-

以下には主辞と少なくとも一つの特有機能の位置依存辞を取る構文を挙げる。

#### 3-4-1. Sujet-rester-Positionnel

##### N0-rester-N1

(35) Bref, c'est dire combien ce thème du sang reste tabou. (p.18, 1.1.02)

#### 3-4-2. Sujet-rester-Positionnel-f-r

##### N0-rester-N1-à-N2

(36) La France reste cependant le premier pays occidental pour l'émigration, au même rang que les Etats-Unis, où la communauté juive est pourtant dix fois plus importante (5 à 6 millions de juifs, contre 600 000 en France). (p.6, 10.1.02)

##### N0-rester-N1-pour-N2

(37) La période la plus heureuse du processus cinématographique reste pour moi celle de la préparation : c'est un moment où on échappe à cette pression collective constante qui pèse sur le réalisateur depuis le tournage jusqu'à la promotion du film. (p.26, 9.1.02)

上の pour moi は非特有状況項としうるが、与格の me=à moi との関連でここに入れる。

##### N0-rester-N1-dans-N2

(38) Enfin, dernier exercice de voltige, pour peu que vous alliez le mirer dans les coins, ou justement l'acheter avec la foi du converti, ce journal restera parfaitement tête-bêche dans son

prix même : 7,90 francs pour les anciens, 1,20 euro pour les modernes. Et inversement !  
(p.19, 1.1.02)

### 3-5. *Il-rester-Expansion-*

以下には非人称の *il* と少なくとも一つの特有機能の拡張をとる例を挙げる。

#### 3-5-1. *Il-rester-Expansion*

##### *Il-rester-N1*

- (39) Il reste désormais cinq mois avant l'affrontement final avec M. Chirac. (p.4, 1.1.02)
- (40) Rien ne manque pour soigner le désir supposé du public : croire que tout peut s'arranger si l'on se parle. Mais que resterait-il sans la méchanceté de Mister Green, dont à l'évidence se régale Philippe Clay, et sans l'attente des saluts ? (p.28, 11.1.02)

(40) は代名詞 *que* によって置き換わっている例である。

##### *Il-rester-que-V*

- (41) Il reste qu'aujourd'hui un jeune Français issu de l'immigration peut vivre sa condition comme une continuité du fait colonial. (p.6, 1.1.02)
- (42) Et même si beaucoup d'entre eux ont volontairement choisi ce mode d'exercice de la médecine, il n'en reste pas moins qu'ils sont perçus comme étant en bas de la hiérarchie médicale. (p.7, 7.1.02)

(42) の *ne...en...pas moins* は副詞的付加項である。

#### 3-5-2. *Il-rester-Expansion-Expansion*

##### *Il-rester-N1-à-N2*

- (43) Brahim sait peu de chose sur la récente décision du Conseil d'Etat, mais affirme : " Si je peux y avoir droit, ce serait la plus belle chose qui pourrait m'arriver, car il me reste un an, peut-être deux, devant moi. " (p.6, 5.1.02)

##### *Il-rester-N1-à-Vinf*

- (44) ON LES CROYAIT largement démocratisées, et l'on découvre qu'il reste beaucoup à faire. (p.17, 5.1.02)

(44) の *à-faire* は *beaucoup* に係っていて *reste* との関係はないとも解釈しうるが (*Il reste un livre à lire* – *Il reste un livre*) , *Beaucoup reste à faire* や *Il reste à faire beaucoup* との関連は無視できないのでここに分類する (以下の 4-4 を参照)。

##### *Il-rester-N1-de/...-N2*

(45) Alors, que reste-t-il de "Loft Story" ? Peut-être avant tout le souvenir d'une vaste manifestation de la jeunesse, comme un chahut paisible, une mobilisation sage. (p.12, 1.1.)  
etc.

#### ***Il-rester-Adj-de-Vinf***

(46) Il reste en effet toujours possible dans ce cas d'intercepter discrètement une clef et de tenter de la casser à l'aide de puissants ordinateurs même si les temps de calculs nécessaires pour le faire peuvent, avec les clefs les plus complexes, réclamer des dizaines, voire des centaines d'années. (p.22, 11.1.02)

#### ***Il-rester-à-Vinf-à-N2***

(47) Le dialogue politique inter-albanais étant au point mort, il ne resterait théoriquement plus à Ibrahim Rugova qu'à se tourner vers les 22 députés serbes et les 10 élus des autres minorités pour franchir l'obstacle. (p.3, 12.1.02)

#### ***Il-rester-à-Vinf-pour-N2***

(48) Luc Kint, le patron de B 2000, a beau estimer que les auteurs du Livre noir exagèrent, le constat est effarant : les plans de la conception finale du bâtiment ne sont pas encore publiés, il reste pour plus de 250 millions d'euros de travaux à exécuter et onze procédures judiciaires ont été lancées. (p.4, 9.1.02)

(48) の *pour-N2* は特有前置詞句であり (「... 分だけ」), *exécuter* との関係が深く意味的には名詞節にかなり近い (il reste plus de 250 millions d'euros de travaux à exécuter や il reste à exécuter pour plus de 250 millions d'euros de travaux との違いを参照)。

#### ***Il-rester-à-Vinf-N2***

(49) La vérité historique deviendrait alors vérité judiciaire et des coupables survivants pourraient être jugés. Il resterait encore à conquérir la vérité politique, de part et d'autre de la Méditerranée. (p.6, 1.1.02)

#### ***Il-rester-à-Vinf-que-V***

(50) Mais cette pénétration d'une culture radicalement différente passait par la morale et la tolérance, ce que Bastide résumait ainsi : "Il reste à montrer que ces cultes ne sont pas des tissus de superstition, qu'ils sous-tendent au contraire une cosmologie, une psychologie et une théodicée. (p.8, 11.1.02)

### 3-5-3. *Il-rester-Expansion-Expansion-Expansion*

#### ***Il-rester-N1-à-Vinf-à-N3***

(62) C'est comme si on vous demandait : "Que feriez-vous s'il vous restait un mois à vivre ?", en sachant que c'est une hypothèse, et de se retrouver réellement face à cette situation. (p.11, 11.1.02)

上例の下線部は un mois vous restait à vivre との対応関係があり、à vivre と restait との関係は無視できない。

### ***Il-rester-N1-près de-N2-à-N3***

(52) Quarante-cinq détenus ont été amenés, dans la nuit de mercredi à jeudi, sur la base contrôlée par les marines et la 101<sup>e</sup> division aéroportée au sud de Kandahar, où se sont donc trouvés réunis, alors, 351 prisonniers. Il en est resté vingt autres près de l'aérodrome de Bagram, au nord de Kaboul, et plus aucun à Mazar-e-Charif, dans le nord du pays, ni sur le navire Bataan, en mer d'Arabie. (p.2, 12.1.02)

### ***Il-rester-N1-Adj-à-Vinf***

(53) Enfin, il reste un risque difficile à mesurer : celui de voir le gouvernement de Buenos Aires protéger et fermer son économie pour tenter de sauver ce qui reste de l'industrie argentine mise à mal par la surévaluation du peso et la concurrence des produits importés. (p.3, 9.1.02)

(53) の下線部は un risque reste difficile à mesurer との対応関係がある。

### ***Il-rester-à-Vinf-N2-à-N3***

(54) Désormais, il ne me reste plus qu'à les dépenser, mais je crois que ça attendra demain matin, probablement pour mon café-crème. (p.3, 2.1.02)

(54) の構文は N2-rester-à-Vinf-à-N3 との対応関係があるが、les で分かるとおり、N2 は完全に Vinf の直接目的として機能している。

### ***Il-rester-à-Vinf-N2-en-N3***

(55) Les jalons ont déjà été posés : les trois pactes de sécurité conclus par les Etats-Unis respectivement avec l'Australie et la Nouvelle-Zélande, les Philippines, le Japon. Il reste à mettre en place le dispositif qui coordonnerait les trois traités, à étudier aussi quels autres pays seraient englobés dans l'alliance. (p.10, 4.1.02)

### ***Il-rester-à-Vinf-de-Vinf-à-N3***

(56) Il reste à ce bon vivant, amateur de bourgogne, à accepter d'entrer davantage dans son rôle public de grand patron. (p.11, 5.1.02)

## **3-6. Rester-Expansion-**

以下には主辞なし無人称の rester に少なくとも一つの特有拡張がついた例を挙げる。

### **3-6-1. Rester-Expansion**

#### ***Rester-N1***

(57) Le spectacle est terminé. Reste une épreuve : le retour, en RER, vers l'hôtel de ville où la

municipalité a prévu une réception. (p.8, 5.1.02)

### ***Rester-que-V***

(58) C'est le cas, notamment, de la réforme de l'Etat, de l'éducation et surtout du système bancaire, condition pourtant indispensable à la venue d'investisseurs étrangers. Reste que l'Algérie aura réussi, en cette année 2001, à sortir de son isolement. Elle a été aidée en cela par le contexte international issu des attentats antiaméricains du 11 septembre. (p.19, 1.1.02)

### **3-6-2. Rester-Expansion-Expansion**

#### ***Rester-à-Vinf-N2***

(59) Pas plus de sa mince expérience ou de son savoir livresque (" Ma connaissance avait devancé le destin de la tour de Pise dans l'histoire des effondrements "). Reste à inventer une stratégie inédite pour renouer avec Térésa. (p.22, 4.1.02)

(59) の構文は N2-*rester-à-Vinf* との対応関係がある。

#### ***Rester-à-Vinf-DI***

(60) Pour adoucir l'impact de cette dévaluation au sein d'une population où la majorité est endettée en dollars, le gouvernement devrait imposer une conversion en pesos des dettes en dollars. Reste à savoir comment cette " pesification " sera accueillie par les banques, dont 90 % sont entre des mains étrangères. (p.5, 5.1.02)

(61) Cette dernière, par le biais d'Exor et d'Ifil, détient conjointement 23,8 % du capital et 32,3 % des droits de vote. Reste à savoir pour quoi faire. (p.15, 9.1.02)

(62) Les déclarations de Mme Guigou prouvent d'autre part que, sous la pression, le gouvernement accepte le principe d'une revalorisation de nos tarifs de base. Reste à savoir de quel montant. Pour notre part nous ne bougerons pas. (p.32, 10.1.02)

上の (61), (62) はいずれも間接話法におかれた直接目的の一部が残っているものと考えられる (...savoir pour faire quoi elle détient 23,8 % du capital des droits de vote, ...savoir de quel montant il accepte la revalorisation de nos tarifs de base)。これらの例では形式上はもう DI-*rester-à-Vinf* との直接的対応関係は認められない。

### **3-6-3. Rester-Expansion-Expansion-Expansion**

#### ***Rester-à-Vinf-N2-à-N3***

(63) Les directeurs ont été entendus. Reste aux syndicats à donner leur avis. Le changement interviendra à la session 2003. (p.8, 11.1.02)

#### ***Rester-à-Vinf-de-N2-à-N3***

(64) Deux lignes sismiques s'y sont croisées pour se renforcer à l'échelle planétaire : d'abord l'idéologie extrémiste de l'islamisme cristallisée autour de la figure de Ben Laden ; mais aussi

l'ambition territoriale et froidement stratégique de la stratocratie pakistanaise, devenue l'alliée plus ou moins opportuniste de Ben Laden, aux dépens de l'Afghanistan ". Reste à ce dernier à sortir du " trou noir " dans lequel ses divisions claniques et les ambitions de ses voisins l'ont plongé. (p.11, 11.1.02)

#### **Rester-à-Vinf-à-N2-à-N3**

(65) En exigeant que soit ajoutée au générique la mention : " Le scénario de Jean Cosmos et Bertrand Tavernier est inspiré notamment des Mémoires de Jean-Devaivre ", le juge des référés a en tout état de cause choisi la formule du compromis, en accordant à M. Devaivre la mention du terme " Mémoires ", qui implique la reconnaissance d'un droit d'auteur, mais en lui déniait les prérogatives qu'il revendique sur la conception du scénario. Reste à la société Bac films - qui se dit prête à relever le défi - à procéder, en quelques jours, au changement indiqué sur quelque deux cent quarante copies. (p.20, 7.1.02)

(63) のように Vinf が他動詞なら N2-r<sup>e</sup>ster-à-Vinf-à-N3 との対応関係が認められるが、(64) のように Vinf が間接他動詞 (de-N2 を間接目的とみなすと) ならばそれは不可能である (\*De-N2-r<sup>e</sup>ster-à-Vinf-à-N3, \*N2-r<sup>e</sup>ster-à-Vinf-de-ø-à-N3)。意味上は à-Vinf-de-N2 全体が主辞のようなところがあるが、\*À-Vinf-de-N2-Rester-à-N3 は勿論不可能である。(64)、(65) とともに、むしろ、N3-r<sup>e</sup>ster-à-Vinf-à-N2 との形式的対応ならば可能である。以下の 4, 5 を参照。

#### 4. Rester の構文と à-Vinf の機能<sup>2)</sup>

##### **N0-r<sup>e</sup>ster-à-Vinf**

→\*N0-y-r<sup>e</sup>ster

→\*N0-le-r<sup>e</sup>ster

→\*Où-r<sup>e</sup>ster-N0?

→\*Que-r<sup>e</sup>ster-N0?

→\*Comment-r<sup>e</sup>ster-N0?

Rester の人称構文の特有機能の拡張に不定詞、特に à-Vinf が含まれている場合は注意が必要である。À-Vinf そのものの機能が抽象位格か属詞かという問題もあるが、人称構文と非人称、さらには無人称構文との対応関係を考える際には à-Vinf の役割が重要になって来る。この対応関係を複雑にしているのは正にこの不定詞なのである。

N0-r<sup>e</sup>ster-à-Vinf の枠組みに形式的に入る構文には、幾つかの異なったものがある。どれも「... に」というような抽象位格の解釈が可能であるように思えるし、また、必須項目なので属詞的な解釈も可能に思えるが、上に見るように、à-Vinf を代名詞 y や疑問副詞 où によって置き換えることは不可能である。属詞に対応する le や que, comment による置換も出来ない。

- (1) Luc reste à dîner. 「リュックは夕食に残る。」  
→\*Où reste Luc?
- (2) Luc reste à ne rien faire. 「リュックは何もせずに残る。」  
→\*Où reste Luc?, →\*Comment reste Luc?
- (3) Je restais sans bouger à la regarder retourner ses cartes. (*Frantext, Roman, Roze, P. Le Chasseur Zéro, 1996, p.12*)
- (4) Ce pain reste à manger. 「このパンを食べることがある。」  
→\*Ce pain le reste. Cf. Ce pain est à manger.
- (5) Ce colis reste à partir. 「この小包の出発がある。」  
→\*Ce colis le reste. Cf. Ce colis est à partir.

(1) は「目的」の Luc reste dîner 「リュックは夕食を食べに残る」や Luc reste pour dîner 「リュックは夕食を食べるために残る」に近く、抽象位格に近いが (Où montez-vous? - Chercher mes clefs. で不定詞が où によって置き換え可能なことに注目), y による置換は不可能である。勿論, le による置換は出来ない。(2) (「何もしないことに」), (3) も抽象位格に近いが, ジェロンディフに更に近い。しかし, 様態の comment による置換は出来ない。当然 le による置換は不可能である。

(4) と (5) は似ているが, 違いは前者は不定詞が他動詞, 後者は自動詞であるという点である。この違いから, (4) は Nx-V-N0 (On mange ce pain 「このパンを食べる」) との, (5) は N0-V (Ce colis part 「この小包は出発する」) との対応関係が出て来る。これらについては以下で詳しく見るが, 両者とも à-Vinf の rester に対する関係 (=統辞機能) は属詞的であると見なしうるが (動詞が être ならば両者はさらに近い), どちらにおいても le による置換は不可能である。

(1), (2), (3) では抽象位格との, (4), (5) では属詞との関連が意味的には考えられるが, どちらも代名詞 y や le による置き換えは不可能である。つまり, 代名詞化に関しては, Luc reste à Paris - Luc y reste 「リュックはパリに残る」, Luc reste content - Luc le reste 「リュックは満足したままである」のような典型的位格と属詞の中間に位置するといえる。

#### 4-1. 他動詞不定詞

##### **N0-rester-à-Vt.inf**

→\*N0-y-rester

→\*N0-le-rester

→\*Il-y-rester

→\*Il-le-rester

→\*Y-rester

→\*Le-rester

次の (6), (6-1) では à manger は属詞的で, manger の動作主は与格が表す。

- (6) Ce pain reste à manger.  
→\*Que reste ce pain?, →\*Comment reste ce pain?
- (6-1) Ce pain reste à manger à Luc.  
→Ce pain lui reste à manger.
- (7) Les syndicats demeurent sceptiques sur le contenu des mesures qui reste à définir et à négocier.  
(*Le Monde*, 02.1.7, p.22)

(6) の ce pain を reste の右に移し主辞位置に il が入ると (8) になる。

- (8) Il reste ce pain à manger.  
→\*Il le reste à manger, →Que reste-t-il à manger?  
Cf. Il reste du pain à manger. →Il en reste à manger.
- (8-1) Il reste ce pain à manger à Luc.  
→Il lui reste ce pain à manger.

(8) では、à manger は reste または ce pain に係っていく二つの解釈が可能である。Reste の右の ce pain を le で置き換えることはできないが、un pain や du pain なら、en での置換は可能である。このことは非人称の Il y a ce pain à manger→\*Il l'y a à manger, Il y en a à manger との類似を考えさせる。つまり、il y a... の構文では、中心の動詞が形式的には他動詞で右にくる名詞句は目的項であるが、le による置換はむずかしい。他方、多くの自動詞構文においては、他動詞構文とは異なって元々動詞の右側が空いているので (Un accident arrive- $\emptyset$ )、そこに主辞が移動しうる ( $\emptyset$ -arrive un accident)。そして、空いた主辞の位置に形式的な非人称の il が入る (Il arrive un accident)。これが多くの非人称構文に認められる仕組みであろう。主辞が動詞の右側へ移動する理由の重要なものの一つとしては、名詞句の不定性が挙げられる。つまり、不定名詞句は主題になりにくく、文頭に現れにくいという談話構造的要因が関係している。出来上がった非人称構文の形式である il-verbe-N は、動詞が自動詞であっても他動詞の典型的な構文の形になっている。つまり、非人称構文の動詞の右の名詞句は直接目的項的性質を帯びる可能性がある。それが、il en reste とか que reste-t-il? のような事例に現れているといえる。En は「そこから」のニュアンスはないし、que も属詞のニュアンス (que devient Luc?) はない。基本が不定名詞句であることを考えれば、en, que は可能で、定名詞句相当の le は不可能ということの納得は行く。基本的に非人称構文の動詞の右側は le, la, les に置き換わることはない。

(6) の ce pain が manger の右に移り、主辞位置に il が入ると (9) になり、ce pain は manger の直接目的となる (cf. Il reste à le manger)。

- (9) Il reste à manger ce pain. 「このパンを食べることがある。」
- (10-1) Il reste à manger ce pain à Luc.  
→Il lui reste à manger ce pain, →\*Que lui reste-t-il?, →Que lui reste-t-il à manger?

(11) Désormais, il ne me reste plus qu'à les dépenser, mais je crois que ça attendra demain matin, probablement pour mon café-crème. (*Le Monde*, 02.1.2, p.3)

(9), (10-1) で興味深いことは, *reste* と *ce pain* の関係が消失してはいないという点である。つまり, *ce pain* は *manger* の直接目的に完全になりきっている訳ではないのである。日本語訳では *reste* の意味上の主部 (つまり, *reste* の左辺から右辺へ移動したものは *à manger ce pain* のようであるが, そうではないことは *que* による置換が不可能であることから分かる (\**Que lui reste-t-il?*)。そもそも \**À manger ce pain reste* はありえないし, *à-Vinf* はどのような動詞の主辞にもなりえない形である。(9) を, フランス語の構文を反映する日本語 (非文) にすると「\* (それは) 食べるべく残っている, このパン (は)」となり, 非人称の *il* を無理に何かに対応させるとすれば, むしろ *ce pain* にということになる。

(6) で *ce pain* が *reste* の右に移り, 左に *il* が入らない段階では (12) になる。これは倒置とみなしうるが, *rester* の場合, 倒置構文ではなくて, しかも *il* なしの非人称, つまり, 無人称が成立する可能性が正に問題になる。

(12) *Reste ce pain à manger*. 「このパンを食べること (この食べるパン) がある。」

Cf. *En reste (un) à manger*.

(12-1) *Reste ce pain à manger à Luc*.

→*Lui reste ce pain à manger*., →\**Que lui reste à manger?*

Cf. *Lui en reste à manger* 「彼には食べるのが残っている」

上の (12-1) で\**Que lui reste à manger?* が不可能なのは興味深い。(8) の *il* つきの非人称文では, \**Il le reste à manger*, *Il en reste à manger*, *Que reste-t-il à manger?* が話題になり, *en* と *que* は容認可能であった。これに対して, (12) の *il* なしの無人称文では, *le* は勿論のこと (\**Le reste à manger*), *que* も容認不可である。

ここではむしろ *Lui en reste à manger* のような文の容認可能性を先ず説明しなければならぬ。無人称の *rester* については, 動詞の左に不可欠の主辞 (人称・非人称の) は存在しない。この構文の基本は動詞の右に拡張が連なって構成される (*Reste des livres à lire*, *Reste à manger un pain*, *Reste à partir*, etc.)。右側に来るものの一部が代名詞化されて動詞の左にくることはありうる。その結果 *Lui en reste à manger* のような文も可能になる。*Lui* も *en* も基本的に動詞の右の要素が置き換わったものである。ただし, このような構文では, 正に主辞 (人称または非人称の *il*) が存在しないため, 標準疑問文の形式は不可能になるのではなかろうか。つまり, 標準疑問文は人称構文でも非人称構文でも主辞代名詞が倒置して動詞の右側に来る (*Mange-t-il du pain?*, *Reste-t-il du pain?*)。疑問詞の *que* が関係すると, 標準疑問文ともいべき主辞直接倒置の *Que mange Luc?* のような文が可能になる。これは非人称構文では不可能である (というよりも, 非人称構文では形式的に *il* が存在するので倒置標準形で済むのである)。人称構文で直接倒置が可能なのは倒置された人称主辞が存在するからである。問題になっている\**Que lui reste à manger?* については, 正に *que* を支え

る非人称主辞が必要なのである（この場合、人称主辞は *que* を属詞にしてしまうため不可能である： *Que lui reste Marie?*）。ここで想起されるのは正に無人称構文ともいべき *voilà* の構文である。 *Voilà Luc, Le voilà, Ne voilà-t-il pas qu'il se met à pleurer?* を見てみよう。3 番目の文は形式的には標準的な倒置疑問であり、正にこの場合 *il* が必要とされている。上の *\*Que lui reste à manger?* の不可能性は標準的語順の疑問形が無人称文には難しいことから説明しうるのはなかろうか。 (*Lui reste quoi à manger?* ならずと会話調であるがより容認可能になるのではなかろうか。 Cf. 下の (19-1) の *\*Lui reste quoi à partir?*)

(6) で *ce pain* が *manger* の右に移り、左に *il* が入らないと (13) になる。

(13) *Reste à manger ce pain.* 「このパンを食べることがある。」

(13-1) *Reste à manger ce pain à Luc.*

→ *Lui reste à manger ce pain.*

(14) *Ne reste plus qu'à savoir si les propositions de "DSK" seront à la hauteur du plan média.*

(*Le Monde*, 02.1.9, p.9)

(13) で *ce pain* が省略されると (15) になる。

(15) *Reste à manger.* 「食べることがある。」

(15-1) *Reste à manger à Luc.*

→ *Lui reste à manger.*

上では属詞でも直接目的項的でも *le* による代名詞化は不可能である。(15-1) のように間接目的の *lui* が出てくるのは問題がない。

#### 4-2. 自動詞不定詞

**N0-rester-à-Vi.inf**

→ **\*N0-y-rester**

→ **\*N0-le-rester**

→ **\*Il-y-rester**

→ **\*Il-le-rester**

→ **\*Y-rester**

→ **\*Le-rester**

4-1 は不定詞が他動詞であり、実例でもかなりの頻度数がある。辞書などの記述でも「不定詞は他動詞のみ」の指示があることもある。この構文の自動詞不定詞が話題になることはあまりない。

Être à... 「...すべきだ」 (*Ce pain est à manger*) の意味に *rester à...* の意味が近いという点では *à* の次の不定詞が自動詞でも他動詞でも同じようなところがある。基本には「...するこ

とにある」という抽象位格の意味がある。ただし、不定詞が自動詞の場合の頻度は実際の資料体ではかなり低い。しかし、人称－非人称の対応関係が問題になるのは正に不定詞が自動詞の場合である。

(16) Ce colis reste à partir. 「この小包の出発がある。」

→\*Ce colis le reste, →\*Ce colis y reste, →\*Où reste ce colis?, →\*Que reste ce colis?,  
→\*Comment reste ce colis?

Cf. Ce colis reste à envoyer.

(16-1) Ce colis est à partir. 「この小包は出発する。」

→?Ce colis l'est 「この小包はそうだ」, →\*Ce colis y est, →\*Où est ce colis?, →\*Qu'est  
ce colis?, →\*Comment est ce colis?

Cf. Un colis à partir 「出発する小包」

(16-2) \*Ce colis reste à partir à Luc.

→\*Ce colis lui reste à partir.

(16) で ce colis を reste の右に移し、左に il を挿入すると (17) になる。

(17) Il reste ce colis à partir. 「この小包の出発（この出発する小包）がある。」

→Que reste-t-il à partir?, →\*Que reste-t-il?

Cf. Il en reste (un) à partir.

(17-1) \*Il reste ce colis à partir à Luc

→\*Il lui reste ce colis à partir, →\*Que lui reste-t-il à partir? (Cf. lui なしの (17) と比較),  
→\*Que lui reste-t-il?

(17) の \*Que reste-t-il? は Il reste ce colis à partir で ce colis à partir が一まとまりになっていないことを示している ((16-1) の Un colis à partir は可能)。(17-1) の例が全て不可能なのも ce colis à partir が一体化していないことと関係している。つまり、à partir を取れば全例が容認可能となるからである (Il reste ce colis à Luc, Il lui reste ce colis, Que lui reste-t-il?)。

(16) で Ce colis が partir の右まで来て、左に il が入ると (18) になる。

(18) Il reste à partir ce colis. 「この小包の出発がある。」

(18-1) \*Il reste à partir ce colis à Luc

→\*Il lui reste à partir ce colis., →\*Que lui reste-t-il?, →\*Que lui reste-t-il ce colis?

(17-1) でも (18-1) でも à Luc が入ると文が不可能になるのは、不定詞 partir と Luc との関係が密接ではないことも関係している。不定詞が例えば他動詞の ouvrir なら Luc は意味上の主辞となり容認可能となる (Il reste à ouvrir ce colis à Luc, Il lui reste à ouvrir ce colis)。

あるいは、前置詞が *pour* になり、*rester* との関係が弱くなると可能であろう (*Il reste à partir ce colis pour Luc*)。

以下には *il* なしで、*ce colis* が *reste* の右に来る例、次に *partir* の右に来る例、そして *ce colis* のない例を検討する。

(19) *Reste ce colis à partir*. 「この小包の出発（この出発する小包）がある。」

Cf. \**En reste*, \*<sup>2</sup>*En reste un* 「一つある」, \**En reste à partir*, \*<sup>2</sup>*En reste un à partir*. 「出発するのが一つある。」

(19-1) \**Reste ce colis à partir à Luc*

→<sup>?</sup>*Lui reste ce colis à partir* 「彼にはこの小包の出発（この出発する小包）がある」,

→\**Que lui reste?*, →\**Que lui reste à partir?*, →\**Lui reste quoi?*, →\**Lui reste quoi à partir?*

Cf. \**Lui en reste*, \**Lui en reste un*.

上例 (19) では *ce colis à partir* は *ce colis* の移動の結果としては外心的であるが、*ce colis à partir* を一名詞句と見なすと内心的になる。しかし、*le*, *que* での置換は不可能である (\**Le reste*, \**Que reste*)。不定名詞句に対応する \*<sup>2</sup>*En reste un à partir* でもあまりうまくいかない (不定詞が他動詞の場合の (12) *En reste à manger*, *En reste un à manger* と比較すること)。

(20) *Reste à partir ce colis*. 「この小包の出発がある。」

→\**Reste quoi?*

(20-1) \**Reste à partir ce colis à Luc*

→\**Lui reste à partir ce colis*, →\**Lui reste comment ce colis?*

4-1 の (13) の (*à manger ce pain* は不定詞が他動詞なので内心的となるが、上の (18), (20) の (*à partir ce colis* は外心的で一つにはまとまらない。

(21) *Reste à partir*. 「あとは出発だ。」

(21-1) *Reste à partir à Luc*. 「あとはリュックには出発だ。」

(21-1-1) \**Ce colis reste à partir à Luc*. 「この小包はリュックには出発だ。」

→\**Ce colis lui reste à partir*.

(21-1-2) *Il reste que Luc parte*. (= (21-1)) 「リュックが出発することがある。」

(21-1-3) \*<sup>2</sup>*Luc reste à partir*. (= (21-1)) 「リュックは出発だ。」

Cf. \**Luc est à partir*. (= (21-1))

(21-1-4) *Reste à partir Luc*. (= (21-1)) 「あとはリュックの出発だ。」

(21-1-5) <sup>??</sup>*Reste Luc à partir*. (= (21-1)) 「あとはリュックが出発だ。」

(21-1) *Reste à partir à Luc*.

→*Lui reste à partir*. (*Lui = à Luc*) 「彼には出発だ。」

(21-2) Reste à partir à ce colis.

→Reste à ce colis à partir, →Lui reste à partir (Lui = à ce colis) 「それには出発だ」,

→<sup>?)</sup>Il reste à partir à ce colis, →Il reste à ce colis à partir 「この小包には出発だ」, →Il lui reste à partir. 「それには出発だ。」

(21-3) \*Reste à partir ce colis à Luc.

→\*Lui reste à partir ce colis. 「彼にはこの小包の出発だ」

(21-4) \*Reste à partir à ce colis à Luc.

→\*Lui reste à partir à ce colis. 「\*彼にはこの小包には出発だ。」

(22) Reste à ce dernier (=l'Afghanistan) à sortir du "trou noir" dans lequel ses divisions claniques et les ambitions de ses voisins l'ont plongé. (*Le Monde*, 02.1.11, p.11)

(16) Ce colis reste à partir から出発して, (20) Reste à partir ce colis が可能である。しかし, (21-2) Reste à ce colis à partir も近い意味で可能である。(20) は倒置の人称構文, または, 非人称の il のない無人称と見なしうる。Ce colis が人称主辞を担いうる形だからである。しかし, (21-2) Reste à ce colis à partir には倒置した人称主辞の形は存在せず, 無人称の解釈しかありえない。

#### 4-3. N0-rester-à-Vt.inf, N0-rester-à-Vi.inf についての考察

不定詞が他動詞の時は次のような移行が考えられる。Ce pain reste à manger à Luc→Reste à manger à Luc ce pain→Il reste à manger ce pain à Luc→Reste à manger ce pain à Luc→Lui reste à le manger. この場合, 不定詞の動作主は人称構文でも非人称構文でも与格の形でしか現れえない。人称構文の主辞である ce pain は, 不定詞の意味上の目的項であり, rester の右側へ移動すると不定詞の直接目的となり与格になることはない。

不定詞が自動詞の時は次のようになる。Ce colis reste à partir→Reste à partir ce colis→Il reste à partir ce colis→<sup>?)</sup>Il reste à partir à ce colis→Il reste à ce colis à partir→Reste à ce colis à partir→Lui reste à partir. 不定詞の動作主は人称構文では絶対格 (=前置詞なしの名詞句) の主辞として現れる。これが右側へ移動すると絶対格 (ce colis) または与格 (à ce colis) として現れうる。しかし, 右側に移動した絶対格は le では置き換えられない (\* (Il) le reste à partir) のに対して, 与格となって lui では置き換えられうる ((Il) lui reste à partir)。

また, Reste à partir と Reste à manger の右側に与格 à-N を挿入すると, 不定詞が自動詞でも他動詞でも, その動作主になる (Reste à partir à Luc, Reste à manger à Luc)。絶対格 N を導入すると, 自動詞の方では動作主になり (Reste à partir Luc), 他動詞の方では不定詞の直接目的になる (\*Reste à manger Luc (Luc: manger の動作主), Reste à manger ce pain)。

人称構文の主辞は不可欠であるのに対して, Reste à ce colis à partir の与格は不可欠ではない。よって, Ce colis reste à partir の主辞が消えて 4-2 の (21) Reste à partir が出て来るとみなすべきではない。Ce colis が動詞の右へ移動し左には il が挿入されて, ce colis は不可欠ではなくなり, 同時に第2または第3項化して与格になり, それが消去される。次に il も不要になり (21) となると考えるべきであろう。

以上の要点は次のようになる。(i) 動詞の左の主辞は不可欠である。(ii) 主辞要素が倒置により動詞の右にくると必須ではない第2項、第3項候補となり易く、直接目的や属詞の位置(上例では *rester* の右の *à partir* の位置)が埋められていれば、移動した絶対格は与格になり易い(絶対格の数は構文上制限されている)。(iii) 与格化した要素はより容易に消去されうる。

II の消去が可能なのは動詞 *rester* の個別性である。人称構文との対応関係との関連では、人称主辞の移動、与格要素の消去に至る条件の方がより重要であろう。

## 5. 人称・非人称構文の対応関係

*Rester* の後続項としては、位格・与格、属詞の名詞・形容詞・副詞、属詞形容詞に *à-Vinf* がついたもの、非属詞機能の (*à-*)*Vinf*、属詞機能の *à-Vt/i.inf* がある。これらと非人称・無人称構文(*il* つき・なし)との対応関係を整理してみよう。

(23) *Luc reste à Paris.*

→*Luc y reste.*

*Luc reste à Léa.*

→*Luc lui reste.*

(23-1) *Il reste Luc à Paris.*

→*Reste Luc à Paris, →Il reste à Paris Luc, →Reste à Paris Luc.*

*Il reste Luc à Léa, →Reste Luc à Léa, →Il reste à Léa Luc, →Reste à Léa Luc.*

上では、位格と与格は *y* と *lui* による置換を除いては、同質と考えてよい。

(24) *Luc reste content.*

(24-1) *\*Il reste Luc content.*

→*\*Reste Luc content.*

Cf. *Luc reste, content, →Il reste Luc, content, →Reste Luc, content.*

(24) では、*content* は *reste* の属詞であり結びつきは強い。この関係は他動詞と直接目的との関係よりも強い。一般的に他動詞の右を直接目的が占めていると主辞は移動してその位置に来ることが出来ず非人称構文は出来ない。直接目的よりもさらに強く動詞の右の位置を占める属詞(しかも、*le* による置換が可能で明確な属詞)がある場合に非人称が形成されないのは容易に理解できる。属詞の形容詞が名詞に緩く係っていく同格の場合、上の(24)は自動詞構文(Cf. の例)となり、非人称の形成は可能になる。

(25) *Luc reste difficile à convaincre.*

(25-1) *\*Il reste Luc difficile à convaincre.*

→*\*Reste Luc difficile à convaincre, →\*Il reste difficile à convaincre Luc, →\*Reste*

difficile à convaincre Luc.

Cf. Il reste difficile de convaincre (Luc), →\*Reste difficile de convaincre (Luc).

(26) Ce pain reste à manger.

(26-1) Il reste ce pain à manger.

→Il reste à manger ce pain, →Reste ce pain à manger, →Reste à manger ce pain.

(26-2) Il reste à manger.

(= Il (nous) reste à manger (ce pain). 「(我々には) (このパンを) 食べることがある。」)

→Reste à manger. (= (Nous) reste à manger (ce pain).)

(27) Ce colis reste à partir.

(27-1) Il reste ce colis à partir.

→Il nous reste ce colis à partir, →Il reste à partir ce colis, →<sup>?</sup>Il nous reste à partir ce colis.

(27-2) Reste ce colis à partir.

→Nous reste ce colis à partir, →Reste à partir ce colis, →<sup>??</sup>Nous reste à partir ce colis.

(27-3) Il reste à ce colis à partir.

→\*Il nous reste à ce colis à partir, →<sup>??</sup>Il reste à partir à ce colis, →\*Il nous reste à partir à ce colis.

(27-4) Reste à ce colis à partir.

→\*Nous reste à ce colis à partir, →<sup>?</sup>Reste à partir à ce colis, →\*Nous reste à partir à ce colis.

(27-5) Il nous reste à partir. (≠(27-1), ≠(27-2), ≠(27-3), ≠(27-4))

Nous reste à partir. (≠(27-1), ≠(27-2), ≠(27-3), ≠(27-4))

Il lui/etc. reste à partir. (lui = à Luc) (≠(27-1), ≠(27-2), ≠(27-3), ≠(27-4))

Lui/etc. reste à partir. (lui = à Luc) (≠(27-1), ≠(27-2), ≠(27-3), ≠(27-4))

Reste à partir. (≠(27-1), ≠(27-2), ≠(27-3), ≠(27-4))

上の (27-5) の最後の例 Reste à partir は (27-4) の Reste à ce colis à partir, 等の意味には通常解釈されず, partir の意味上の主辞が人 (Nous reste à partir, Lui reste à partir (lui = à Luc), etc.) に理解される (しかし, これは文脈や言語外状況により変わるかもしれない)。

(28) Luc reste à dîner.

(28-1) \*Il reste Luc à dîner.

→\*Reste Luc à dîner.

Cf. Il reste Luc pour dîner, →Reste Luc pour dîner.

(29) Luc reste à la mode.

(29-1) \*Il reste Luc à la mode.

→\*Reste Luc à la mode, →\*Il reste à la mode Luc, →\*Reste à la mode Luc.

(30) Luc reste, content.

- (30-1) Il reste Luc, content.  
→Reste Luc, content.
- (31) Luc reste.
- (31-1) Il reste Luc.  
→Reste Luc.
- (32) Luc reste à ne rien faire.
- (32-1) \*Il reste Luc à ne rien faire.  
→\*Reste Luc à ne rien faire.
- (33) Luc reste à dîner. (≡ Luc reste pour dîner.)
- (33-1) \*Il reste Luc à dîner.  
→\*Reste Luc à dîner, →\*Il reste à dîner Luc, →\*Reste à dîner Luc.
- (34) Luc reste dîner.
- (34-1) \*Il reste Luc dîner.  
→\*Reste Luc dîner, →\*Il reste dîner Luc, →\*Reste dîner Luc.
- (35) Luc reste pour dîner.
- (35-1) Il reste Luc pour dîner.  
→Reste Luc pour dîner, →\*Il reste pour dîner Luc, →\*Reste pour dîner Luc.
- (36) Luc reste pour Léa.
- (36-1) Il reste Luc pour Léa.  
→Reste Luc pour Léa, →Il reste pour Léa Luc, →Reste pour Léa Luc.

## 6. おわりに

Luc reste content à Paris で、content は属詞であり reste にとって不可欠である。Luc reste, content, à Paris 「リュックは満足してパリに残る」では、content は Luc の同格となり、reste と à Paris との関係はより密接になる。

À Paris のような具体的位格は被制辞 (régie) の名詞の選択によって容易に抽象位格になる (Luc reste à ce niveau, Luc reste à la mode)。被制辞が不定詞になると抽象度は更に上がるとも言える。抽象位格は機能的に属詞に極めて近い。これらの le と y による置換の可否よりも具体的位格、抽象位格、属詞が、全て特有機能として refter と密接につながっている点が重要である。

また、具体的位格はその構文的特有性を更に高め与格になる (Luc reste à Léa)。

具体的位格を中心に据えた refter の全構文の体系を考えてみる事が出来るだろう。

基本的に、il つき非人称構文、il なし無人称構文の右の à-Vinf は属詞機能で、対応する人称構文の解釈と同じである。

Rester の左の主辞要素が右へ移ると倒置構文と非人称・無人称構文が関係してくる。非人称の構成にあたっては、動詞との結びつきが強く動詞の右の位置を占める属詞は障害となる。属詞性の強い名詞や形容詞が右にあると非人称化は拒否される。À-Vinf 属詞が人

称構文で *rester* の右にある場合、非人称化または無人称化は可能である。この意味では *À-Vinf* 属詞は属詞性が弱く位格性がより強いと見てよいのかもしれない。*À-Vinf* 属詞の場合は、不定詞が他動詞でも、自動詞でも基本的に同じように考えるべきである。

人称構文において属詞解釈がない *à-Vinf* の場合 (*Luc reste à ne rien faire*, *Luc reste à dîner*) は、非人称化が不可能となる (*\*Il reste Luc à bavarder*, *\*Il reste Luc à dîner*)。前置詞 *à* が不在の場合 (*\*Il reste Luc dîner*) も同様である。人称主辞がないと人称構文での不定詞の機能が保ち得ないためである。(つまり、「...は...しに残る」という「意図」を持った人称主辞・動作主の機能が「*ø/à-Vinf*」の機能と密接に呼応している)。具体的位格 (*Luc reste à Paris*) や動詞 *rester* との関係がより弱い要素をもつ構文 (*Luc reste, content, Luc reste pour dîner, Luc reste pour Léa*) では非人称の構成は問題を生じない。つまり、自動詞構文とその非人称構文との対応関係に近くなる (*Luc reste - Il reste Luc*)。

動詞右側の第 1 項目の範列の要素間関係と人称・非人称の対応関係との関連に注目すべきであろう。

## 註

- 1) *Le Monde* 紙 (2002 年 1 月 1 日 - 1 月 12 日) と *Frantext* (1960-1997 年) を使用。
- 2) 以下の構文分析への François ROUSSEL 氏の忍耐強い御協力に深く感謝する。

## 参考文献

- BOONS, Jean-Paul, Alain GUILLET, Christian LECLÈRE (1976) *La Structure des phrases simples en français, Constructions intransitives*, Genève, Droz.
- GROSS, Maurice (1975) *Méthodes en syntaxe*, Paris, Hermann.
- INDEX du DELAS.v8 et du Lexique-Grammaire des verbes, LADL, Paris, 1997.
- 久野暲 (1986) 『談話の文法』大修館書店。
- 黒田成幸 (1973) “Le jugement catégorique et le jugement théorique: exemples tirés de la syntaxe japonaise”, *Langages* 30, pp.81-110.
- MARTINET, André (dir.) (1979) *Grammaire fonctionnelle du français*, Paris, Didier.
- (1985) *Syntaxe générale*, Paris, A.Colin.
- 尾形こづえ (1994) 「属詞動詞の機能と移動動詞の機能—動詞 *rester* をめぐって—」, 『人文学系研究センター研究叢書』第 4 号, 青山学院大学人文学系研究センター, pp.55-93.
- RIVIÈRE, Nicole (1981) 『現代フランス語非人称構文』*La Construction impersonnelle en français contemporain*, Document de linguistique quantitative, N° 41, Paris, Éd. Jean-Favard.